

令和4年2月1・2・3日朝礼（各クラスを巡回）

2月3日は「節分」です。「節分」には「皆が健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、「鬼は外、福は内」と言いながら豆まきをします。「健康」というと、当たり前のように思っている人が多いかもしれません。でも、私たちは、体を壊してしまったとき、「健康」のありがたみを強く感じる場合が多いです。「空気」や「水」と同じようなものかもしれません。新鮮な空気、きれいな水が私たちの身の回りにおいて当然と思うかもしれませんが、決してそうではありません。「皆が健康で幸せに」という願いをこめて豆まきを試してみるのもよいかもしれません。

また、節分という言葉には、「季節を分ける」という意味があるそうです。昔の日本では、春は一年のはじまりとされ、特に大切にされていました。今でもお正月のことを「新春」と言いますね。そのため、春が始まる前の日、つまり冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになったそうです。ちなみに暦の上で春が始まる日を「立春（りっしゅん）」（2月4日ごろ）と呼びます。

ところで皆さん、「鬼」って聞いたら、どんな姿を思い浮かべますか？ツノの生えた、赤色や青色の怖い姿を思い浮かべる人が多いでしょうか？実は、もともとは鬼の姿は決まっていなかったのだそうです。見えない悪いものを鬼と呼んでいて、いろいろなお話を通じて、だんだんと今の姿になっていったのだそうです。そして、悪いもの（鬼）を追い払い、良いもの（福）を呼び込むために、豆まきをします。鬼に炒った豆をぶつけて、悪いものを追い出すというイメージです。ずーっと昔に、鬼を豆で退治したところからこう言われているそうです。

豆まきの豆、「大豆（だいず）」にはたくさんの栄養が含まれているから、鬼を追い出すパワーがいっぱいつまっているということですね。豆まきには、「炒った豆」つまり火を通した豆を使います。もし火を通さずに、そのままの豆をまいて芽が出て、追い出したはずの悪いものが育たないように、炒った豆を使うそうです。ちなみに、場所によっては落花生をまくところもあるのだそうです。

皆さんの中にも、鬼がいるかもしれません。ちらかしおに、いじわるおに、おこりんぼうおに、泣き虫おに…。「鬼は外！福はうち！」のかけ声と共に、豆をまいて鬼をやっつけましょう。ついでにいまはやりのコロナもやっつけてしまいましょう。

まだまだこれから寒い日が続きます。手洗い、消毒をしっかりと、健康に生活できるように気を付けていきましょう。